

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月12日更新

事務事業名		市バスの維持管理事業		<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	2	福祉の健幸	所屬部	総務部	課長名	坂井 竹志
	施策	4	地域福祉の推進	所屬課	総務課	担当者名	小西靖浩・深迫将成
	業務分野	15	社会福祉の推進	所屬班	総務・男女共同参画班	(内線)	1228
予算科目		会計一般	款 2 項 1 目 1	事業連番	11503	法令根拠	合志市バス管理及び使用規程
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	1. 市バスによる各福祉施設への送迎 2. 市が主催する調査、研修、スポーツ及び各種大会行事参加者の送迎 3. その他市長が必要と認める事業の送迎を行う事業。旧合志町では各種委員及び職員研修等の際の使用として、旧西合志町では福祉施設利用者の便宜を図るため福祉施設利用者の送迎、各種委員及び職員研修等の際の使用として運行していた。合併時に2台となり旧西合志町の福祉施設利用者の送迎、地域サロンの行事の送迎、市の行事の送迎の使用目的に統一した。区・自治会や地域の老人会の福祉施設利用の増加、また、地域サロン等の利用の増加により利用が増えてきている。ただし、白バス規制との絡みがある。H20.3.3「バス管理及び使用規程」を見直し、研修等の使用の際、使用者負担としていた道路通行料、駐車場料金及び運転手の宿泊費等のほかに、指定地域(片道直線で25km)を超えて運行する場合、ガソリン代の負担を追加した。また、使用の範囲の(3)、その他市長が必要と認める事業で使用する場合の適否の判断を関係課で行うこととした。補助団体の使用の際は上記を徹底している。R2年度より市バス1台を廃車し、1台のみでの運行となる。R6.5.1よりバス運行に係る実費(燃料代等)を使用者負担とした。
【業務の流れ】	使用申請者が所定の申請書により申し込み、運行計画に添ってバスを運行する。
【主な予算費目】	【款】2 総務費 【項】1 総務管理費 【目】1 一般管理費 【節】3 職員手当、11-3修繕料、11-5燃料費、12役務費、27公課費

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

各種団体の福祉施設への送迎、社会福祉協議会の各地域サロンの行事の送迎を行い、住民福祉の向上に努めた。

②7年度計画(次年度に計画している主要内容)

前年度と同様各区・自治会老人会や各種団体の福祉施設への送迎、社会福祉協議会の各地域サロンの行事の送迎及び市や市に關係する団体が主催する調査、研修、スポーツ及び各種大会行事参加者の送迎を行う。

③予算の主な増減の理由

バス専用携帯電話買い替えによる備品購入費の増

成果指標

バス利用者件数

(単位)

件

データ取得方法

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
バス利用者件数	件	0	0	50	161	160	160	160	160
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円			355				
	繰入金	千円							
一般財源	千円	810	892	1,422	1,578	974	974	974	974
(A) 事業費計	千円	810	892	1,422	1,933	974	974	974	974

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

利用状況は各区・自治会老人会や各種団体の福祉施設への送迎、社会福祉協議会の各地域サロンの行事の送迎及び市や市に關係する団体が主催する調査、研修、スポーツ及び各種大会行事参加者の送迎を行っており、高齢者の外出支援ができ健康づくりの推進に寄与している。H24年度に、エアロバスの耐用年数が過ぎたが、まだ充分に使用できることから、ギアシフトユニットを修理し運用することとした。

(4)今後の事業の方向性

廃止
 縮小
 事業のやり方改善
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)